



平成24年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 比較.com株式会社

コード番号 2477 URL <http://www.hikaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡邊 哲男

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 小宮 浩一

TEL 03-5447-6690

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第2四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	325	31.3	15	82.4	16	81.1	2	
23年6月期第2四半期	472	1.2	88	22.0	89	19.9	37	

(注) 包括利益 24年6月期第2四半期 2百万円 (%) 23年6月期第2四半期 37百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第2四半期	73.01	
23年6月期第2四半期	1,171.06	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第2四半期	1,790	1,682	94.0
23年6月期	1,858	1,685	90.7

(参考) 自己資本 24年6月期第2四半期 1,682百万円 23年6月期 1,684百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期		0.00		0.00	0.00
24年6月期		0.00			
24年6月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	613	26.1	52		51		55		1,718.51

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年6月期2Q	32,382 株	23年6月期	32,382 株
期末自己株式数	24年6月期2Q	株	23年6月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	24年6月期2Q	32,382 株	23年6月期2Q	32,382 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期決算報告書のレビュー手続を実施しています。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により経済活動の停滞がありました。徐々に復興に向けた回復の兆しが見られております。しかしながら、欧州の財政問題や、欧米の景気不安の影響により、依然として景気の先行きが不透明な状態で推移いたしました。

このような状況ではありますが、インターネット市場は引き続き拡大傾向にあります。インターネットは、生活に欠かせないインフラのひとつとなり、パソコンに加え、携帯電話やスマートフォンを用いたインターネット利用が広く普及するなど、その利用環境も多様化が進んでいます。

このような環境の中、当社グループにおきましては主要3事業を拡大し、消費者の生活に密着したサービス提供を行うべく、データベースの拡充やシステム改善、機能追加を行い、ユーザーの利便性の向上をはかりました。

インターネット広告事業におきましては、総合比較サイト『比較.com』のショッピング比較サービスにおいて、検索機能の強化とサイト内の情報量の拡大を目指し、継続的にシステムの再構築を行いました。またFX（外国為替証拠金取引）比較サービスのスマートフォン用サイトの対応を行いました。

アプリケーションサービス事業におきましては、宿泊施設のニーズにあった新機能や、情報提供ツールなど、ソリューション提供の仕組みづくりに向けたサービス開発を進めました。また、宿泊予約サイトへの連携も継続的に行い、宿泊施設の利便性の向上に努めました。

オンライントラベル事業におきましては、連結子会社の予約.com株式会社が運営する国内宿泊予約サイト『マル得ホテル予約』にて引き続き国内宿泊予約サービスの機能改善やデータベース拡充などの仕組みづくりに注力いたしました。

しかしながら、当社グループの各サイトのページビュー数及びユニークユーザー数の落ち込みへの対応が計画通りに進まず、前年同期の水準に到達できなかったことや、ユーザー数の減少に伴い売上が伸び悩んだ結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は325,027千円（前年同期比31.3%減）、営業利益は15,538千円（前年同期比82.4%減）、経常利益は16,842千円（前年同期比81.1%減）、四半期純損失は2,364千円（前年同期は四半期純損失37,921千円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

インターネット広告事業

インターネット広告事業におきましては、当社運営の総合比較サイト『比較.com』にて、第1四半期会計期間に続き、第2四半期会計期間においても大手検索エンジンのシステム移行に対する対応が遅れており、ページビュー数及びユニークユーザー数が減少した影響により、アフィリエイト成果件数が伸びず、前年同期を下回りました。

この結果、インターネット広告事業の売上高は126,865千円（前年同期比52.0%減）となりました。

引き続き、営業力及び商品力を強化し、経営資源を集中させることで、業績回復に努めてまいります。

アプリケーションサービス事業

アプリケーションサービス事業におきましては、『手間いらず!』を導入している宿泊施設の新型予約サイトコントローラ『手間いらず.NET』へのシステム移行が順調に推移し、『手間いらず.NET』の導入実績数は増加しております。ただし震災の影響もあり、新規の導入を予定していた宿泊施設では、一部導入を遅らせている状況があるため、売上高はほぼ横ばいの推移となりました。

この結果、アプリケーションサービス事業の売上高は179,273千円（前年同期比1.2%増）となりました。

引き続き、営業力及び商品力の強化をはかり、事業規模の拡大に向けた仕組みづくりを進めてまいります。

オンライントラベル事業

オンライントラベル事業におきましては、連結子会社の予約.com株式会社が運営する旅行予約サイト『予約.com』及び『マル得ホテル予約』の情報拡充に努めましたが、ページビュー数及びユニークユーザー数が前年同期に比べ減少した結果、売上高は低調に推移いたしました。

この結果、オンライントラベル事業の売上高は18,888千円（前年同期比34.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は1,790,579千円となり、前連結会計年度末に比べ67,770千円減少いたしました。主な要因は、のれん23,288千円の減少であります。

当第2四半期末の負債は107,840千円となり、前連結会計年度末と比べ64,783千円減少いたしました。主な要因は、預り金34,826千円の減少、及び、未払法人税等26,416千円の減少であります。

当第2四半期末の純資産は1,682,738千円となり、前連結会計年度末と比べ2,986千円減少いたしました。主な要因は、四半期純損失の発生によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、平成23年8月12日に公表いたしました平成24年6月期の通期業績予想を修正いたしました。

詳しくは、本日(平成24年2月13日)別途公表いたしました「平成24年6月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,486,540	1,478,540
売掛金	100,849	79,382
繰延税金資産	4,665	2,357
その他	33,196	18,615
貸倒引当金	3,354	2,838
流動資産合計	1,621,896	1,576,056
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,167	2,167
減価償却累計額	2,167	2,167
建物及び構築物(純額)	-	-
その他	7,078	9,638
減価償却累計額	6,256	6,712
その他(純額)	822	2,925
有形固定資産合計	822	2,925
無形固定資産		
のれん	187,403	164,114
無形固定資産合計	187,403	164,114
投資その他の資産		
繰延税金資産	937	703
その他	49,463	48,557
貸倒引当金	2,175	1,779
投資その他の資産合計	48,225	47,481
固定資産合計	236,452	214,522
資産合計	1,858,349	1,790,579
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,371	2,355
未払法人税等	46,302	19,885
その他	123,949	85,599
流動負債合計	172,624	107,840
負債合計	172,624	107,840
純資産の部		
株主資本		
資本金	709,262	709,262
資本剰余金	1,000,262	1,000,262
利益剰余金	24,604	26,968
株主資本合計	1,684,920	1,682,556
新株予約権	804	182
純資産合計	1,685,724	1,682,738
負債純資産合計	1,858,349	1,790,579

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 7 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 7 月 1 日 至 平成23年12月31日)
売上高	472,864	325,027
売上原価	41,316	36,037
売上総利益	431,548	288,989
販売費及び一般管理費	343,346	273,451
営業利益	88,201	15,538
営業外収益		
受取利息	427	623
為替差益	16	251
貸倒引当金戻入額	-	217
その他	379	211
営業外収益合計	823	1,304
経常利益	89,024	16,842
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,491	-
新株予約権戻入益	326	652
子会社株式売却益	3,742	-
特別利益合計	6,559	652
特別損失		
減損損失	78,234	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,200	-
特別損失合計	81,434	-
税金等調整前四半期純利益	14,150	17,494
法人税、住民税及び事業税	49,845	17,317
法人税等調整額	2,225	2,542
法人税等合計	52,071	19,859
少数株主損益調整前四半期純損失 ()	37,921	2,364
四半期純損失 ()	37,921	2,364

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	37,921	2,364
四半期包括利益	37,921	2,364
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37,921	2,364

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14,150	17,494
資金除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,200	-
減価償却費	11	456
減損損失	78,234	-
子会社株式売却損益(は益)	3,742	-
のれん償却額	29,270	23,288
貸倒引当金の増減額(は減少)	3,120	911
受取利息及び受取配当金	427	623
売上債権の増減額(は増加)	36,729	22,056
仕入債務の増減額(は減少)	649	16
預り金の増減額(は減少)	21,906	34,826
その他	11,494	9,664
小計	121,554	36,583
利息及び配当金の受取額	457	623
法人税等の支払額	71,387	43,817
営業活動によるキャッシュ・フロー	50,624	6,610
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	281	1,389
敷金及び保証金の回収による収入	4,246	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	2,838	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,803	1,389
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	57,427	8,000
現金及び現金同等物の期首残高	1,394,659	1,476,540
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,452,087	1,468,540

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自平成22年7月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	インターネット 広告事業	アプリケーション サービス事業	オンライン トラベル事業	その他 事業 (注)3	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高							
(1)外部顧客への 売上高	264,435	177,065	28,921	2,441	472,864	-	472,864
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	264,435	177,065	28,921	2,441	472,864	-	472,864
セグメント利益 又は損失()	64,365	67,613	7,667	755	123,556	35,355	88,201

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額 35,355千円には、セグメント間取引消去3,990千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 39,345千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当第2四半期連結会計期間において、その他事業を営む連結子会社であった株式会社ヒメナ・アンド・カンパニーは、当社が保有する全株式を売却したため、連結子会社ではなくなりました。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オンライントラベル事業」セグメントにおいて、のれん、電話加入権、商標権の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては78,234千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成23年7月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	インターネット 広告事業	アプリケーション サービス事業	オンライン トラベル事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
(1) 外部顧客への 売上高	126,865	179,273	18,888	325,027	-	325,027
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	126,865	179,273	18,888	325,027	-	325,027
セグメント利益 又は損失()	24,633	67,891	9	43,267	27,729	15,538

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 27,729千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は従来、「インターネット広告事業」、「アプリケーションサービス事業」、「オンライントラベル事業」、「その他事業」の4つを報告セグメントとしておりましたが、「その他事業」については、前第2四半期連結会計期間において、連結子会社であった株式会社ヒメナ・アンド・カンパニーは、当社が保有する全株式を売却し、連結の範囲から除外したことに伴い報告セグメントを廃止しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。